



今定例会において、議会運営委員会から提出された「大型MICE施設の宜野湾市への建設誘致に関する意見書」は全会一致(退場1名)で可決され、去る1月27日に議長を初め議会運営委員7名が県の高良副知事を訪ね、施設を本市西海岸地域に建設するよう要請を行いました。

ぎのわん 第90号

市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 (098)893-4411(内337)
印刷 有限会社ダイヤプリント



高良副知事に要請を行った宜野湾市議団(平成26年1月27日)

【定例会の経過】

12月	4日	議会運営委員会
	6日	会期の決定、案件上程、説明
	10日	上程案件に対する質疑、委員会付託
	10日	議会運営委員会
	11~13日	各常任委員会議案審査
	13日	議会運営委員会
	17~20,24日	一般質問(質問者22名)
	25日	各常任委員会の審査報告及び表決

議員定数削減案を賛成多数により可決!!「28人から26人へ」

12月 定例会 会期 12月6日~12月25日

第380回宜野湾市議会定例会は、12月6日から12月25日までの20日間の会期で開かれました。

今定例会は、議員定数条例の一部を改正する条例や職員定数条例の一部を改正する条例のほか、職員の再任用に関する条例の制定を含む47件にわたる議案等が審議され、22名の議員による一般質問も行われました。

十二月定例会 主な議案の審議経過

市議會議員定数条例の一部を改正する条例について

可決

議案の内容は、現行の議員定数二十八名から二十六名に減らす条例改正案が、議会改革に関する調査特別委員長上地安之議員ほか六名の議員により追加提案された。

委員会の協議において、「行財政改革への対応として、本市の人口、面積、財政力、議員一名当たりの人口、近隣市の削減状況等を勘案した場合、現在の二十八名では多く、市民の理解を得るために二十六名に減らすことが妥当である」との意見が多数を占め、議員定数を二名減とする改正案の提案に至った。

本会議では、反対討論として「議員定数は多様な意見を市政に反映させる数が必要である。議員の定数を減らすことは、住民の声を議会と自治体に届きにくくするものであり、普天間基地の問題を初め、本市の問題は山積しているなか、今こそ議会がその役割を果たすことが重要である。議会の活性化に向けて、市民に見える形でしっかりと働く議会改革こそ先に行うべきで

ある」、「市民に開かれた議会をさらに実現するために議会基本条例の制定が一番重要な取り組みである。議員定数の適正化について、特別委員会での審議は不十分で、減数ありきである」との意見に対し、賛成討論として「本市の厳しい財政状況を考えたとき、市民を代表する議会がみずから身を削り、定数を見直すことで歳出を削減する必要がある」、「今回の定数改正によって年間約千三百万円軽減されることから、市民の福祉向上に寄与できるものと考ええる」との意見が出された。

表決に当たっては、賛成多数(賛成十九、反対七)で可決された。

選挙公報の発行に関する条例の制定について

可決

議案の内容は、市議會議員及び市長の選挙における候補者の政見等を選挙人に周知する選挙公報を発行するための条例制定である。

審査では、広報発行から配布までの費用について質疑がなされ、印刷製本費六十四万八千円、配布委託料百三十二万八千四百円を予定しているとの答弁がなされた。表決に当たっては、全会一致で可決された。

米軍基地普天間飛行場に関する意見書・決議

定例会第三二回目の十七日に、

平良眞一議員ほか十名の議員から「普天間飛行場の固定化を許さず即時閉鎖・早期返還を許さず即時閉鎖・早期返還の実現に関する意見書及び決議」が提案され、賛成多数(賛成十六、反対十)で可決された。また、桃原功議員ほか

六名の議員から「普天間基地の県内移設断念と早期閉鎖・撤去に関する意見書及び決議」も提案されたが、可否同数となり、議長裁決により否決された。

か六名の議員から「普天間基地の県内移設断念と早期閉鎖・撤去に関する意見書及び決議」も提案されたが、可否同数となり、議長裁決により否決された。

米軍基地普天間飛行場の固定化を許さず即時閉鎖・早期返還の実現に関する意見書

米軍基地普天間飛行場については、平成8年の日米両首脳による返還発表から既に17年が経過している。その間、米軍機の墜落事故などが相次いで起きており、特にことし4月の普天間飛行場所属CH-53E型ヘリが韓国で訓練中に墜落、炎上した事故は、平成16年に沖縄国際大学に墜落した事故を思い起こさせ、いつまた大惨事が起こってもおかしくない状況に、宜野湾市民はもとより沖縄県民の恐怖と不安は計り知れないものがある。

可決

そのような中、日米両政府は昨年10月にMV-22オスプレイ12機を県民の意思に反し強行配備し、ことしの9月25日までに12機が追加され、合計24機の配備が完了したことは、極めて遺憾であり、さらなる基地機能の強化及び固定化につながるオスプレイの配備を断じて容認できるものではない。

また、オスプレイについては、県が県内市町村と取り組んだ飛行実態に関する目視調査の結果によると、10月の1カ月間で日米合同委員会の合意に違反すると思われる飛行が172件あり、訓練が激化していることはいうまでもなく、さらに本市においては、去る10月21日午後10時過ぎから翌22日午前2時までエンジン調整による騒音を轟かせる等、騒音規制措置で取り決めた制限時刻を超えた時間帯における飛行及び地上での活動が行われており、普天間飛行場を取り巻く環境は、負担軽減が図られるどころか年々悪化の一途をたどっており、普天間飛行場の危険性を除去するという市民の願いとは逆行している状況にある。

本市議会は、これまで米軍による事件、事故が起こるたびに、日本政府及び関係機関に対し、再三再四にわたり強く抗議、要請してきたが、一向に解決の道は見えず、これ以上、いつ何時、大惨事を引き起こすか予断を許さない状況のまま、同飛行場の固定化は絶対に許されるべきではない。

よって本市議会は、9万5千人余の市民の尊い生命や財産及び平穏であるべき生活を守るためにも、一日も早い普天間飛行場の危険性の除去を図るべく、日米両政府に対して、あらゆる手段を講ずるよう求めるとともに、同飛行場を固定化せず即時閉鎖し、早期返還するよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。
平成25年12月17日
沖縄県宜野湾市議会

普天間基地の県内移設断念と早期閉鎖・撤去に関する意見書

今、普天間基地を巡る動きは、国が出した辺野古沖埋め立て願ひに知事の承認可否や「かけはしの会5人の国会議員が自民党から伺喝され県民に約束した選挙公約を反故にし、普天間基地県内移設容認に変説した。

これまで辺野古への移設は17年という長期間、名護市民等を中心とした強い抵抗により海上に杭1本さえ打たせなかった。その失敗を教訓にせず、政府自民党は再び辺野古移設を強行しようとするのは負担軽減にならないどころか、県内移設こそがさらに長期化し、普天間基地の固定化に繋がりがかねない。辺野古沖、大浦湾の海はジュゴンが生息するすばらしい海原である。魅了する美しい自然が観光立県の資源であり、みずから基地を認めてはいけない。

本年1月には県内41市町村の全ての首長と議会議長、県議会議長などが署名した普天間基地を閉鎖・撤去し県内移設を断念することと記された「建白書」を安倍晋三首相へ手渡した。

しかし、日米両政府はこの県民の声を無視して辺野古移設を唯一の解決策などとして力づくで押し付けようとしている。国土の0.6%にすぎない沖縄に米軍専用施設の74%が集中し、普天間から僅か36Kmしか離れていない辺野古へ移しても騒音や墜落の危険性は沖縄のどこに基地を移しても変わらない。このような過重負担は軽減ではなく、増大でしかない。本市議会や県内他市議会などは、これまでも沖縄の過重な基地負担の問題解決を求め、意見書を可決してきた。

私たち沖縄県民は米軍占領時代から保革を超えた島ぐるみの闘いで土地取り上げに反対し、祖国復帰を実現してきた。今求められているのは沖縄のアイデンティティーを貫き県民の心をつなぐ県民総意の実現に頑張りぬくことである。しかるに、「固定化を許さず」だけでは誤ったメッセージになりかねず、多くの県民の願いである「県内移設反対」とぶれずに主張することである。

よって本市議会は沖縄への圧力を強め政治家の公約変更を迫り「県民総意」を分断し、県知事に新基地建設のための埋め立て許可を迫るなど子や孫の代まで米軍基地を強要しようとしている日本政府のやり方に激しい怒りを禁じえない。同時に市民、県民の生命と安全を守る立場から辺野古沖建設を強引に推し進める政府に対して激しく抗議し、県民総意である普天間基地の県内移設断念と早期閉鎖・撤去を強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。
平成25年12月17日
沖縄県宜野湾市議会

今定例会における契約案件

契約名
伊原市営住宅建替工事(C棟建築)請負契約
契約の相手方
アメリカンエンジニアコーポレーション(有)イシケン建設JV
契約金額
8億2,562万8,658円

伊原市営住宅建替工事(C棟建築)の請負契約について
委員会審査では、予定価格の積算について、平成二十六年四月からの消費税増税や市内業者への受注機会の拡大等に関して質疑、提言がなされ、全会一致をもって同意された。

同意

監査委員に米須氏を再任

監査委員の米須厚氏の任期満了に伴い、再び同氏を選任したい旨の案件が提出され、全会一致で同意された。

教育委員会委員に宮城氏を選任

教育委員の上原助勝氏の任期満了に伴い、宮城邦子氏を後任とする人事案件が定例会最終日に追加提案され、全会一致で選任同意された。



宮城邦子氏

一般質問

今定例会は、22名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

【答弁者】

- 市長 長 佐賀真 淳
- 副市長 長 松川 正 則
- 教育長 長 玉城 勝 秀
- 水道事業管理者 外間 伸 儀
- 総務部長 宮 城 聡
- 企画部長 和 田 敬 悟
- 基地政策部長 比 嘉 秀 夫
- 福祉推進部長 大 屋 孝 夫
- 健康推進部長 玉 那 覇 豊 子
- 市民経済部長 宮 城 豊 信
- 建設部長 黒 澤 伸 行
- 教育部長 玉 那 覇 清
- 指導部長 石 川 正 信
- 消防長 米 須 清 一
- 会計管理者 國 吉 秀 子

公園管理のあり方について

知念吉男 議員



○議員 今年度から公園は指定管理者により管理されているが、担当部局としてどのようににかかわっているか。

○建設部長 指定管理者とのかわりとしては監督指導助言、自主事業の承認審査等の業務となっている。

○議員 嘉数高台公園は土日はもちろん、平日でも観光パスがとまっております。多くの利用者がいるにもかかわらず、トイレは老朽化しており、清掃はされている跡があるか、においがきつく、ドアも傷んでいる。専決処分や補正予算による対応で、早目に改修すべきと考えるが、いかがか。

○建設部長 トイレ内の悪臭については、原因の調査に基づき、十二月月上旬に悪臭の原因である尿石等の除去を行っている。今後はその状況等も確認しながら対策を講じてまいりたい。

○議員 その他の公園のトイレも調査を行い、市民が快適に利用できるよう、早急な改善に努めていただきたい。

キャンプ瑞慶覧の返還跡地計画について

比嘉憲康 議員



○議員 現在、普天間飛行場における百平米以上の土地を県や市へ売却する場合は、五千万円の税の特別控除が受けられるが、西普天間住宅地区の取り扱いについて伺いたい。

○基地政策部長 普天間飛行場と同様な特別控除が受けられるよう調整中である。

○議員 当該地区は百平米未満の土地所有者も多いと思うが、そのような方への対応はどのように考えているか。

○基地政策部長 地主会との連名で国の担当大臣へ要請しているが、解決には至っていない。今後の合意形成に向けて地主と相談してまいりたい。



平成27年3月末返還予定のキャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)

どのように考えているか。

○基地政策部長 地主会との連名で国の担当大臣へ要請しているが、解決には至っていない。今後の合意形成に向けて地主と相談してまいりたい。

○議員 跡地利用に当たり、県が進めている重粒子線がん治療施設の誘致について、市の見解をお聞かせください。

○企画部長 現在のところ具体的な説明はないが、県の施設として建てるのであれば協力は必ずかかるとはならない。

○議員 長期的な経営や経済波及効果等もしっかりと精査し、検討していただきたい。

障がい者就労支援事業の取り組みについて

呉屋 等 議員



○議員 当該事業に係る就労継続支援事業所の情報提供はどのように行っているのか。

○福祉推進部長 市から県のホームページへのリンクを設定しており、アクセスすると全事業所が検索できるようになっている。

○議員 就労支援を受けても仕事がないなど、さまざまな問題があるが、その解決に向け、担当部署や事業所間で協

議会を設置してはどうか。

○福祉推進部長 さまざまな問題があることは認識している。市としても福祉就労という性質上、仕事をふやすための支援に努めてまいりたい。

○議員 糸満市が一括交付金を活用して、事業所紹介のガイドブックを作成し、情報の発信を行っている。本市でも取り組んでみてはどうか。

○福祉推進部長 一括交付金の対象事業に合致するかどうかも含め、今後研究してまいりたい。

○議員 ぜひ、検討をお願いしたい。

長田区公民館建設計画の進捗状況について

我如古 盛英 議員



○議員 当該施設建設のスケジュールについて伺いたい。

○市民経済部長 平成二十六年に基本実施設計、基本設計が終了次第、用地の取得そして実施設計の終了後に本工事を予定している。

○議員 併設される児童センターは説明によると小規模とのことであるが、長田自治会からの要望等も踏まえ、どのように協議がなされているか。

○福祉推進部長 規模は現段階で二百五十五・四平米ということで防衛局と協議を行っている。また、自治会からの要望については、その都度担当課にて説明を行っている。

○議員 当該施設が今後の複合施設のモデルケースになることも踏まえ、市長の意気込みをお聞かせください。

○市長 地域の皆様の負担軽減を図るとともに、自治会の加入促進や子育て世代の連携の場となるよう期待し、今後とも取り組んでまいりたい。

○議員 期待にこたえられるよう頑張りたい。

指定ごみ袋について



宮城勝子 議員

◎議員 有料ごみ袋に対して市民からの要望、苦情等についてお聞きしたい。

◎市民経済部長 家庭ごみ袋有料化が実施された当初はごみ袋が厚く結びづらいとの苦情があり、最近では取っ手つきごみ袋を要望する声が上がっているため、平成二十六年から取っ手つきごみ袋への導入を予定している。

手つきのごみ袋との相違点について伺いたい。
◎市民経済部長 同一の価格帯で提供するため、袋上部分を取っ手にし、容量は五リットル減の四十リットルとしている。
◎議員 容量減少の結果、市民の負担が増えないか。
◎市民経済部長 現在のごみ袋及び取っ手つきごみ袋の双方を提供し、市民に選択していただく方法を考えている。
◎議員 取っ手つき中、小ごみ袋の販売は検討しているか。
◎市民経済部長 販売状況等を確認し、製造を検討したい。

農作業の活用による高齢者の健康増進について



喜舎場 保 議員

◎議員 現在、本市では医療費の高騰が課題である。そこで、医療費抑制のため、高齢者が農作業に携われる環境づくりが重要だと考えるが、いかがか。

◎健康推進部長 農作業は、身体活動能力を維持することにも大変効果的だと考えており、都市地区における農業や家庭菜園などの農作業に携われる環境づくりについては、

関係部署と今後調整をしてまいる。
◎議員 高齢者施策であるシルバーパスポート事業の拡充策として、自治会と連携し、遊休地を借り上げて、希望者へ提供する施策を取り入れていただきたいが、いかがか。
◎健康推進部長 高齢者の閉じこもり防止や外出支援、生きがいづくり支援であるシルバーパスポート事業へ、どのようにして農作業を取り入れられるか、今後研究してまいりたい。
◎議員 医療費抑制のために、検討をぜひお願いしたい。

市長の米軍普天間基地の県内移設容認について



桃原 功 議員

◎議員 市長の県内移設容認という姿勢は、公約違反であると考えているが、そのことについて市長の見解をお伺いしたい。

◎市長 県外移設がベストであるというスタンスに変わりはない。ただ、昨今のマスコミ、日米両政府筋から出ている固定化に対して懸念をしており、危険性の除去に逆行するようなことがあつてはなら



米軍基地普天間飛行場

ないという思いで、政府に対し、宜野湾市民の総意として固定化はあつてはならないと発信させていた。また、
◎議員 公約変更について説明責任を果たすべく説明会の開催を求めるが、いかがか。
◎市長 現在、そのようなことは考えていない。
◎議員 国に対し、当初の意思どおり県内移設反対を強く主張するべきであり、また県民世論の七割近くが県内移設に反対ということをしつかりと認識し、市民の安全、安心のために行動していただくよう強く要求する。

学校給食の今後の運営と食育について



玉元一恵 議員

◎議員 給食センターの運営に関して、民営化を視野に入れているとのことだが、今後の民営化の展開について、お伺いしたい。

◎総務部長 給食センター全てを民営化させるということではなく、民間が専門とする部分である、調理や配缶、配達、洗浄等について民営化をしていくことを考えている。
◎議員 食育について、地産

学校部活動のあり方について



伊波秀 男 議員

◎議員 学校において、部活動、スポーツ少年団と地域行事の調整や指導者への指導はどのように行っているのか、お伺いしたい。
◎指導部長 各学校では、部活動指導者連絡会において、教職員や部顧問へ、地域で行われる運動会や清掃活動等の行事へ部員を積極的に参加させるように促している。

◎議員 月に一回は土曜日

地消という観点から大山田いもを活用した授業カリキュラムを市内全小学校に取り入れていただきたいが、いかがか。
◎教育長 市内全小学校において、田いも畑まで学習に行くことは時間や安全面等から困難であるが、大山小学校やはごろも小学校は地理的優位性があるので、体験学習を授業カリキュラムに取り入れるよう指導を行ってまいりたい。
◎議員 大山小学校、はごろも小学校からぜひ実施していただき、他の小学校については、その地域に合った食育を行っていただきたい。

日曜日を休みにし、子供たちを地域や市の行事に参加させるべく、学校は地域との話し合いを持ち、スポーツ少年団等と地域行事とのすり合わせをするべきだと考えるが、いかがか。
◎教育部長 次年度より毎月第三週目の週末を青少年健全育成の日に準拠し、学校施設の利用を特段の事情を除いて制限する協議をスポーツ少年団と現在、進めている。
◎議員 月に一回は、家庭や地域の日として、スポーツ活動を休みにしていく検討をぜひお願いしたい。



平成27年4月から民間移譲が予定される特別養護老人ホーム福寿園

民間委託並びに指定管理について



上地安之議員

◎議員 特別養護老人ホーム等の民間委託の実施時期についてお伺いしたい。

◎総務部長 特別養護老人ホームは、平成二十七年四月一日に、保育所は、野高保育所を平成二十八年四月一日に、それぞれ民間移譲を計画している。また、平成二十七年四月一日に宜野湾給食センターを民間委託、平成二十八年四月一日に(仮称)伊利原老人福

社センター、赤道老人センターの指定管理者制度の導入を予定している。なお、図書館、博物館、児童センターにおける民間委託等の導入時期については、現在検討中である。

◎議員 民間委託実施後の財政効果についてお伺いしたい。

◎総務部長 計画の途中ということもあり、財政効果については現在、積算中である。

◎議員 民間委託等の導入実施に向け、サービス内容等を市民へしっかり説明できるように準備し、滞りなく市民ニーズに対応できるように業務を進めていただきたい。

障害者優先調達推進方針について



米須清正議員

◎議員 本市における障害者就労施設事業所数について伺いたい。

◎福祉推進部長 障害者就労施設として、就労系事業所が二十一カ所、地域活動支援センターが一カ所の計二十二カ所となっている。

◎議員 各施設への仕事の発注及び物品等の調達に関する取り組みはなされているか。

各公民館からの防災行政無線の利活用について



平良真一議員

◎議員 自治会広報施設は有線のため、雨風に弱く断線等もあることから、防災行政無線を自治会等から利用可能なのか、法的に問題はないのか伺いたい。

◎総務部長 システム上の修正等が必要だが、電波法が改正され、市内十七カ所のデジタル簡易無線の登録局に限り、自治会等から利用可能である。

みについて定めたものはないが、可能な範囲で調達を行ってきており、平成二十四年度の庁内調達実績は、約二百七十万円、社会福祉協議会は、建物清掃等積極的に取り組んでおり、調達実績は約七十二万円となっている。

◎議員 障害者就労施設等優先調達方針の策定は、検討しているのか伺いたい。

◎福祉推進部長 随意契約の活用や役務の計画的発注を行い、調達を推進していきたい。

◎議員 障害者の業務受注機会の拡大に向け、努めていただきたい。

◎総務部長 地区遠隔制御装置を用いた地域通報システムにおいては、概算で八百万円程度の費用を見込んでいる。

◎議員 当システム整備に係る費用について、一括交付金の活用はできないのか。

市民広場の駐車場整備について



伊波一男議員

◎議員 市民広場は市民の憩いの広場として利用者は年々増加しており、市民からは雨天時でも利用しやすいように駐車場を整備してもらいたいとの声が多く寄せられているが、どのようにお考えか。

◎総務部長 市民広場駐車場については現状では良好な状態ではなく、利用者にとつては一日も早い整備が待たれていないものと認識しているが、

整備に当たっては米軍との協議が必要であり、まずは米軍に現状を理解してもらい、形状変更の少ない方法はないか、関係部署とも十分協議を行い、検討してまいります。

◎議員 まずは普天間基地司令官の了解を得て、協議を進めてもらいたいが、いかがか。

◎総務部長 クォーターミーンティングで許可が得られたら、できるだけ経費がかからないように検討してみたい。



雨天時にぬかるむ市民広場駐車場

基地行政 について



屋良千枝美 議員

○議員 本市の退職教員により構成される宮野湾市校友会が、オスプレイ追加配備の抗議 撤回を求める市民大会の開催を要請しているが、その対応状況について伺いたい。

○基地政策部長 去る八月に当会から要請があり、不安が払拭されない中でオスプレイ配備に対しては、当会の皆様と同様の思いであることを伝え、市民大会幹事との意見

交換や日米両政府及び関係機関へ抗議 要請を行っている。

○議員 去る九月の新聞紙面に「米軍機着陸 校庭も想定」との見出しを見つけ、衝撃を受けたが、本市における緊急時の着陸地点の学校名をお聞きしたい。

○基地政策部長 日米合意により学校の上空を避けるよう飛行経路を設定しており、学校を緊急避難地とする認識はしていない。

○議員 辺野古への新基地建設は反対であり、かつ普天間基地の早急な閉鎖、返還を望んでいる。

公共火葬場の 建設について



佐喜真 進 議員

○議員 公共火葬場建設の進捗状況について伺いたい。

○企画部長 去る十一月に市町村長会議を開催し、候補地を中城村内に絞り込み、今後地権者及び地域住民への説明会を行いながら、財源の確保等検討を重ねた上で候補地を最終決定する予定である。

○議員 当該施設の総事業費及び供用開始時期についてお聞きしたい。

○企画部長 概算ではあるが最大約四十億円を見込んでおり、火葬場建設に対する国県の補助がない状況であるため、財源に関し、五市町村間にて今後研究したい。供用開始時期については、地域住民の合意形成に時間を要するため、平成三十一年度を目標としている。

○議員 事業計画のこれ以上の遅れがないことを約束していただきたいが、いかがか。

○副市長 財源の確保が最重要課題であるが、市民が切望している施設でもあるため、最大限努力したい。

大謝名団地 周辺の整備 について



濱元朝晴 議員

○議員 当該団地は、老朽化が激しく、構造的な問題があるため、安全性や住機能の低下が進行していることから住民が安心して生活できる住環境の向上を図るために、建てかえ事業を行うと聞いているが、団地内の児童センターはどのような計画で進められるのか、伺いたい。

○福祉推進部長 団地建てかえに当たっても、引き続き児童

センター用地として無償で継続使用させていただき、県と連携しながら進めてまいりたい。

○議員 大謝名地域には、公園等がほとんどなく、団地建てかえの際に、県と協議をしてもうりたいが、いかがか。

○建設部長 当該地域は、市の緑の基本計画や都市マスタープランにおいて、公園不足地域として位置づけられているので、地域自治会からの要望も考慮しながら、関係機関と協議をして、公園不足地域の解消に向けて、検討を行ってまいりたい。



大謝名児童センター（県営大謝名団地内）

学校給食センター の民営化 について



仲村春松 議員

○議員 学校給食センターの民営化について、どのような方針なのか。また、新設学校給食センターの供用開始時期はいづろか、伺いたい。

○総務部長 前年度の行政診断の報告を受けて、今年度に入り、検討を行い、基本方針（案）を作成している。今後は宮野湾学校給食センターから民間委託を行い、残りのセンターについても順次実施し

ていく方針案となっている。また、新設学校給食センターは、平成二十八年夏ごろの供用開始を予定している。

○議員 民営化に伴い、どれだけコスト削減が図れるのか。

○総務部長 現在、行政改革推進室にて詳細を積算中であるが、行政診断報告書によると総事業費の二〇から三〇％の削減は見込まれると報告されている。

○議員 民営化に伴って質の低下があつてはならない。現行の食物アレルギー対策も十分配慮した上で、進めていただきたい。

有害玩具の指定及び 事故防止対策 について



宮城 克 議員

○議員 本市の小中学校における過去に起きた有害玩具ニアガン等による事故の件数及び被害の状況等についてお聞きしたい。

○指導部長 事故の件数として、平成二十三年度が二件、二十四年度が二件、二十五年度はゼロ件である。被害状況としては、ニアガンによる目の負傷や前歯の欠損等の報告がなされている。

○議員 事故当時の教育委員会並びに学校側の対応及び指導等について伺いたい。

○指導部長 教育委員会が、有害玩具の使用禁止に関する文書を周知し、未然防止及び注意喚起を行い、学校側の対応として、加害児童及び全児童への指導や被害児童へのお見舞い等を行っている。

○議員 今後、有害玩具類の指定に関する条例の制定は検討しているのか。

○指導部長 ニアガン等はあつてはならない物だと認識しており、他市の状況等を調査研究し、検討していきたい。

○議員 事故当時の教育委員会並びに学校側の対応及び指導等について伺いたい。

○指導部長 教育委員会が、有害玩具の使用禁止に関する文書を周知し、未然防止及び注意喚起を行い、学校側の対応として、加害児童及び全児童への指導や被害児童へのお見舞い等を行っている。

○議員 今後、有害玩具類の指定に関する条例の制定は検討しているのか。

○指導部長 ニアガン等はあつてはならない物だと認識しており、他市の状況等を調査研究し、検討していきたい。

救急医療情報キット及び子ども安心カードの導入について



況と健康管理のデータを保管する意識づけの啓発をしていきたいと考えている。

◎議員 食物アレルギーの有無などの情報が記載されている子ども安心カードの導入について、見解を伺いたい。

◎議員 救急医療情報キットの導入予定について、お伺いしたい。

◎健康推進部長 平成二十六年度は、健康都市宣言五十周年になるので、記念グッズとして救急医療情報キットと類似内容である健康安心キットの作成及び配布を企画している。また、当該キットを自宅に設置していただくことで日ごろから、みずからの身体状

行政診断業務委託報告書について



◎議員 施設の民営化や指定管理者制度導入のおくれが、事務事業を遂行する現場職員にしわ寄せがきていることが危惧され、類似団体と比較して、少ない人数で業務をこなしている部署が多く見られるとの指摘があるが、どのような理由でおくれたのか。

◎総務部長 施設によっては、既に非常勤職員のみで運営しているところもあるが、指定

公園整備計画について



◎議員 本市の公園整備目標に対する達成率を伺いたい。

◎建設部長 達成率は約六六%となっている。

◎議員 中原区の上原二丁目側は公園が少ないと思うが、整備計画があるか伺いたい。

◎建設部長 自治会からの要望も考慮の上、公園不足の解消に向け検討してまいります。

◎議員 仮定の話として、新たな自治会事務所の建設が同

◎議員 要介護者が住宅で安心して生活するためには、住環境を整える必要もあると考えるが、介護生活者の住環境整備のために、どのような支援サービスを行っているのか。

◎健康推進部長 要介護者が可能な限り住みなれた住宅において安心して自立した日常生活を営むことができるよう、要介護者の心身の状況や希望などを踏まえて、福祉用具の

介護生活者の住環境整備への支援策について



購入や貸与、さらに住宅改修の支援を行っている。

◎議員 地域の独居高齢者のために、サービスの利用のガイドブックを自治会にも配布されているのか、伺いたい。

◎健康推進部長 毎年、民生委員や社協で自治会関係者の勉強会もあり、そこで配布していると思うが、配布部数等もふやすことも必要があれば対応していきたい。

◎議員 少子高齢化のため介護を必要とされる方が年々多くなることから、しっかりと精査し、中身が充実するよう対応してもらいたい。

◎議員 早期に資料を取り寄せて検討をお願いしたい。

◎指導部長 本市では毎年四月に、緊急連絡先やアレルギーの有無、既往歴等を保護者に家庭環境調査票、保健調査票へ記入していただいている。議員御提言の情報カード等については、資料を取り寄せて検討してまいります。

地域に決まった場合、公園用地として土地が確保される可能性があれば、公園整備をぜひ検討していただきたい。

◎建設部長 土地が確保できれば、関係機関等とも協議の上、検討してまいります。

◎議員 公園整備計画が順調に進んだ場合、自治会事務所と同時に統合事業による整備をお願いしたいが、いかがか。

◎企画部長 建設部から計画が出た段階で統合事業も含め、最も有利な補助制度を活用し実施してまいります。

◎議員 ぜひ、当局の支援をお願いしたい。

市議会の活動状況(平成25年分)

1.定例会・臨時会の開催等について

区分	会期日数	本会議日数	一般質問日数	質問者数	傍聴人数	
定例会	3月定例会	30日間	15日間	6日間	26人	71人
	6月定例会	18日間	8日間	5日間	20人	35人
	9月定例会	22日間	9日間	6日間	25人	34人
	12月定例会	20日間	8日間	5日間	22人	36人
	小計	4回	90日間	40日間	22日間	93人
臨時会	3回	3日間	3日間	-	-	3人
年間合計	7回	93日間	43日間	22日間	93人	179人

2.各委員会の会議日数等について

委員会名	内訳	委員数	委員会開催日数		
			会期中	閉会中	合計
総務常任委員会		9人	12日間	7日間	19日間
経済建設常任委員会		8人	13日間	2日間	15日間
福祉教育常任委員会		9人	15日間	4日間	19日間
議会運営委員会		10人	10日間	9日間	19日間
基地関係特別委員会		10人	3日間	8日間	11日間
議会改革に関する調査特別委員会		10人	3日間	10日間	13日間
全員協議会		27人	0日間	0日間	0日間
合計			56日間	40日間	96日間

議員活動

教育委員会より、「全国学校給食週間」に向けた取り組みとして、学校給食状況視察(学校訪問)を実施するに当たり、去る一月二〇日、志真志小学校において、議長及び福祉教育常任委員会の委員が、児童・生徒とふれあいながら学校給食の意義と役割について理解と関心を高めました。また、今後の学校給食の充実発展に役立てるよう懇談を行いました。



第380回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	件名	議決結果
議案第77号	平成25年度宜野湾市一般会計補正予算(第4号)	原案可決(賛成多数)
議案第78号	平成25年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第79号	平成25年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第80号	平成25年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第81号	平成25年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第82号	平成25年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第83号	平成25年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第84号	平成25年度宜野湾市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第85号	宜野湾市選挙公報の発行に関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第86号	宜野湾市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第87号	宜野湾市職員定数条例の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)
議案第88号	宜野湾市職員の再任用に関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第89号	宜野湾市職員の再任用に関する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第90号	宜野湾市母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第91号	地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第92号	宜野湾市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第93号	宜野湾市下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)
議案第94号	宜野湾市墓地等の経営の許可等に関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第95号	宜野湾市火災予防条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第96号	宜野湾市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)
議案第97号	伊和原市営住宅建替工事(C棟建築)の請負契約について	同意(全会一致)
議案第98号	大山7号橋梁上部工工事の議決内容の一部変更について	同意(全会一致)
議案第99号	監査委員の選任について	同意(全会一致)
議案第100号	教育委員会委員の選任について	同意(全会一致)
議案第101号	宜野湾市議会議員定数条例の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	答申可決(全会一致)
認定第1号	平成24年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第2号	平成24年度宜野湾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第3号	平成24年度宜野湾市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第4号	平成24年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第5号	平成24年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第6号	平成24年度宜野湾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第7号	平成24年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第8号	平成24年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
議案第75号	平成24年度宜野湾市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定(全会一致)
意見書第27号	大型MICE施設の宜野湾市への建設誘致に関する意見書	原案可決(全会一致・退場1名)
意見書第28号	米軍基地普天間飛行場の固定化を許さず即時閉鎖・早期返還の実現に関する意見書	原案可決(賛成多数)
決議案第26号	米軍基地普天間飛行場の固定化を許さず即時閉鎖・早期返還の実現を求める決議	原案可決(賛成多数)
意見書第29号	普天間基地の県内移設断念と早期閉鎖・撤去に関する意見書	否決
決議案第27号	普天間基地の県内移設断念と早期閉鎖・撤去を求める決議	否決
報告第14号	平成25年度(平成24年度対象)宜野湾市教育委員会点検・評価報告について	報告
報告第15号	交通事故による和解等に関する専決処分の報告について	報告
陳情第29号	「30名以下学級」早期完全実現に関する陳情	採択(全会一致)
陳情第53号	スクールソーシャルワーカー活用事業に関する要望	採択(全会一致)
陳情第56号	「B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書」採択へのお願い	採択(全会一致)
陳情第60号	平成26年度幼稚園就園奨励費補助金に関する陳情	採択(全会一致)
陳情第61号	組合製品採用についての要請	閉会中の継続審査
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第20号 宜野湾市入札制度に関する見直しについての要請 陳情第38号 住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情 陳情第55号 米軍普天間基地に関する要請	承認 (総務常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第31号 宜野湾市発注に係る公共工事に使用される生コンクリートについての「官公需適格組合」並びに「品質管理監査合格工場」への優先使用に関する陳情 陳情第46号 地球温暖化対策に関する「地方財源の確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書採択について 陳情第61号 組合製品採用についての要請	承認 (経済建設常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第21号 就学援助制度の周知・拡充を求める陳情 陳情第28号 「幼稚園・就学前教育」準義務教育化・無償化要請制度設計の意見書提出に関する陳情 陳情第30号 学校給食センター移設統合反対に関する緊急要請 陳情第39号 「子ども・子育て新システム」に基づく保育制度改革に反対する意見書提出を求める陳情 陳情第51号 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情	承認 (福祉教育常任委員会)